

## キャリア形成支援センター

### 活動報告

#### I. キャリア形成支援センター概要

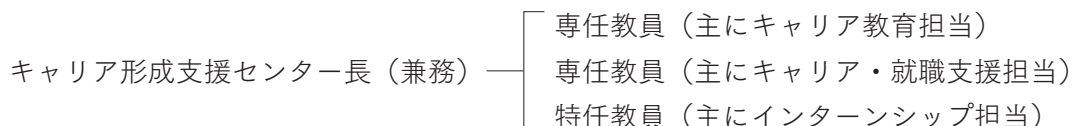
キャリア形成支援センターは、全学的なキャリア形成支援体制のもとで、キャリア教育及びインターンシップを含めたキャリア形成・就職支援を充実・推進し、学生の多様なキャリア形成を支援することを目的とし、令和2年4月1日に設置された。

##### 1. 主な業務内容

- キャリア教育の研究開発・実施
- キャリア・就職支援の企画立案・実施
- インターンシップの企画立案・実施
- 鹿児島大学地域人材育成プラットフォーム  
(かごしまキャリア教育プログラム)の運営及び実施
- 学生(卒業生及び中途退学者を含む)へのキャリア・就職に係る指導助言
- キャリア教育やキャリア・就職支援、インターンシップ等に関する調査・分析及び報告
- 求人その他の就職及びインターンシップ情報の収集・提供
- 「大学地域コンソーシアム鹿児島」の「地域連携・就業部会」の運営



##### 2. 運営体制



#### Ⅱ. 令和2年度の主な活動内容

##### 1. キャリア教育

###### (1) 地域人材育成プラットフォーム「かごしまキャリア教育プログラム」

キャリア形成支援センターは、総合教育機構が運営する「地域人材育成プラットフォーム」の「かごしまキャリア教育プログラム」を担当しており、本センターの教員が中心になってキャリア教育プログラムワーキンググループ(以下「キャリアPWG」)を運営している。「かごしまキャリア教育プログラム」は、学部(研究科を含む)では実施困難な全学部の学生を対象とする学部横断的な教育であり、体系的なキャリア教育プログラムとして1学年から3学年までの一連の連続した教育システムであるとともに、課題解決型学習(PBL)のインターンシップを組み込んだキャリア教育としてトータルにデザインされている。地域企業の課題解決型学習(PBL)という、ハイレベルなインターンシップへと到達できるのは、初年次から積み上げた知識と能力とに支えられているところが大きい。

上記の「キャリアPWG」における検討事項は次の通りである。

●「地域人材育成プラットフォーム」の「かごしまキャリア教育プログラム」の開発および実施／運営、報告

キャリアPWGの検討対象となる授業は、「キャリアデザイン（前期）」「キャリアデザイン（後期）」「社会人基礎力演習」「地域キャリアインターンシップ事前演習」「地域キャリアインターンシップ」「地域キャリアインターンシップ修了演習」である。今年度は、新たに設けられた「社会人基礎力演習」の開発や、「地域人材育成プラットフォーム」の3つのプログラムの全履修生を対象として実施される成果報告会についての議論が中心となった。「社会人基礎力演習」は、「かごしまキャリア教育プログラム」の「コア科目」としての一連の教育プログラムの要であり、初年次教育と実地研修とをつなぐ架け橋としての役割もあり、内容の策定に多くの時間を費やし難航したが、社会人基礎力の理解のため、経営学的アプローチやケースワークを導入することで完成した。

また、以上の授業を運営するために、総合教育機構内の共通教育センター、高等教育開発研究センターなどの協力を得る運営体制についての議論も行った。

●学部（研究科含む）におけるキャリア教育およびインターンシップの実施状況の把握について

キャリア形成支援センターでは、学部（研究科を含む）におけるキャリア教育およびインターンシップの実施状況や教育内容についての把握が課題となっており、これについての検討を開始した。キャリア教育については各学部（研究科を含む）のシラバスレベルでの把握は可能であり、また、インターンシップについても大学を通じた実施状況の情報収集や把握は可能である。しかし、キャリア教育の要素を併せ持った授業の把握や、学生が個人で申し込む公募型インターンシップの参加状況となると、データに不足があることは否めない。そこで、全体像をつかむためのリソースや、データを収集する枠組み、あるいはシステムについての議論を重ねた結果、学生の著作物や活動成果を蓄積したポートフォリオに、インターンシップ経験やキャリア教育の履修実績を追加し、その結果を効果的に出力できるシステムの構築に期待が集まった。すでに存在するLMSとの連携もあり、全学的な教育システムとなることが想定されるため、今後検討が進められる中で、キャリア形成支援センターも必要に応じて議論に参加していく予定である。

(2) 正課外のキャリア支援イベントと連携した低学年からのキャリア形成

「かごしまキャリア教育プログラム」のスタートアップ科目である「キャリアデザイン」の授業の一部に組み入れ、或いは授業の中で教員から参加を促したことにより、以下の表に示すとおり、全学年対象の正課外キャリア支援イベントへの低学年次生の延べ参加者は、令和元年度の約3倍となる684名と大幅に増加した。

全学年対象の主なキャリア支援イベント	低学年の参加者数（名）	
	令和2年度	令和元年度
Web インターンシップ合同企業説明会	126	24
中小企業の魅力発見講座	16	11
卒業生によるキャリア支援セミナー（1回）	98	29
進路ガイダンス	49	45
Web 業界研究フェア（県内企業・団体）	191	123
Web 業界研究フェア（県外企業・団体）	204	
合計	684	232

## 2. キャリア・就職支援

令和2年度のキャリア形成支援センターによるキャリア・就職支援の取組みの一覧と学生の参加状況等については、表1（令和2年度キャリア形成支援センター事業実施状況：P39）のとおりである。本節では、就職・キャリア支援イベントの開催、就職・進路相談、求人情報の提供、学内外への広報について概要を報告する。

### (1) 就職・キャリア支援イベント

#### ●ガイダンス・支援講座等

学部3年生・大学院1年生を対象に、年間6回の就職ガイダンスと4回の少人数・実践的な就職支援講座を開催した。新たな取り組みとしては、近年ますます重要になっているインターンシップへの参加の効果を高めるため、事前対策のガイダンスや参加後の振り返り講座を企画したほか、オンライン選考の増加を踏まえ、動画・Web選考対策も支援講座に導入した。なお、新型コロナウイルス感染症予防のため、4、5月の第1回、2回の就職ガイダンスは動画オンデマンド配信し、後期の第4～6回ガイダンスはLIVE形式で実施する一方、少人数の支援講座については、感染予防対策を行った上で可能な限り対面で行うなど柔軟に対応し、学生の視聴・参加数も前年を上回った。

そのほか、学部4年生・大学院2年生を対象とした2回の就活応援講座と個別進路相談会、学部1、2年生対象の進路ガイダンスを開催し、前年度並みの学生の参加があった。

#### ●企業セミナー（説明会）等

新型コロナウイルス感染症の影響で、コロナ前は年間を通して開催していた個別企業説明会など対面での実施は大幅に減少したものの、オンライン形式も含めた合同・個別の企業セミナー（説明会）や業界・職種研究セミナー、中小企業の社長を招いての交流イベント等に、前年度を上回る延べ443社が参加し、学生の参加も1,722人となった。

##### 【全学年対象】

- ・ Web インターンシップ合同企業説明会
- ・ 10回の業界・職種研究セミナー
- ・ 6社の県内企業の社長を招いての中小企業の魅力発見講座
- ・ 2日間の Web 業界研究フェア

##### 【学部3年・大学院1年対象】

- ・ 3日間の講義形式の学内個別企業セミナーフェア
- ・ 中四国・九州の国立大学生対象 Web 合同企業説明会

##### 【学部4年・大学院2年対象】

- ・ 年間随時開催の学内個別企業説明会
- ・ 県外企業による Web 合同企業説明会
- ・ 県内企業によるブース形式の学内合同企業説明会
- ・ 3大学限定／8大学限定 Web 合同企業説明会

#### ●卒業生による就職・キャリア支援セミナー

大手企業等に勤務する若手卒業生4人による就職支援セミナーをオンライン開催したほか、同窓会連合会の協力で、多彩な分野で活躍する卒業生6人によるキャリア支援セミナー





「きばいやんせ、鹿大生2020！」も会場と遠隔の学生をオンラインで結んで開催した。毎年開催しているこのキャリア支援セミナーは、共通教育科目「キャリアデザイン」と連携しており、受講生を含めて104人が参加した。

(2) 就職・進路相談 (表2参照：P40)

本学の法文学部OBである以下の就職相談員に加え、ハローワークの就職ナビゲーター2人の計3人が、学期中はほぼ毎日学生の就職や進路に関する相談に対応している。

4月下旬からの緊急事態宣言発令期間や11月下旬の本学におけるクラスター発生時、また、年明けからの大学入試前の時期には、対面での個別相談を中止し、オンラインやメール、電話等に対応したが、年間の相談件数は前年度とほぼ同様であった。

【就職相談員】原口一陽氏 (前株南日本新聞社 東京支社次長 兼 営業部長)

(3) 求人情報の提供 (表3参照：P41)

令和2年度にキャリア形成支援センターで受け付けた求人件数は表3のとおりである。センターに届いた全国からの求人は、求人検索システムのデータベースに入力し、学内外から学生や卒業生が求人情報を検索できるようにしている。さらに、就職登録している最終学年次生や卒業生には、希望条件に近い求人が届いた場合、その日のうちに自動メールが送付される(就職登録制度)。令和2年度にこの就職登録制度を利用した在学生及び卒業生は合計130人であった。また、センターで受け付けた求人票は、対象学部コピー等を送付するとともに、県内・県外に分け、さらに業種別・五十音別にファイリングして、来室した学生が閲覧できるようにしている。

なお、求人件数はコロナ前から減少傾向にあり、昨年度センターで受け付けた求人件数が前年度より約15%減少した要因としては、新型コロナ以上に、採用活動の早期化が進み、求人情報が公開される3年生の3月より前のインターンシップや企業研究等の早期イベントからの採用が増えた影響が大きいと思われる。

(4) 学内外への広報

キャリア形成支援センターから昨年度発行した定期刊行物は以下のとおりである。

発行時期	名称	形態	配布対象・方法等
6月中旬頃	就職支援ガイドブック	冊子 電子ブック	学部3年生・大学院1年生に学部やセンターで配布
2月上旬	求人のための大学紹介	冊子	全国の企業・団体約1,100社程度に郵送
4月上旬	キャリア形成支援センター 案内リーフレット	三折リーフレット	入学式の配布物として新入生や保護者に配布し、センターと各学部の就職支援室(コーナー)等に設置。県内高校長との教育懇話会でも配布
毎月1回	「キャリア形成支援センターからのお知らせ」	A4サイズ 1枚	センターに設置するとともに各学部で掲示 就職ガイダンス等でも配布

以上のほか、入試広報用の「受験生のための大学案内」や、広報センター発行の保護者向け「鹿大だより」と大学概要、学生生活課が発行している学生便覧に毎年原稿を提出しており、報道機関の取材にも随時対応している。



表 1

令和2年度キャリア形成支援センター事業実施状況 (キャリア教育、インターンシップ窓口担当事業を除く)

R3.3.31現在

月 日	事 業	参加状況	(前年度)
<b>【ガイダンス・支援講座/就活応援講座】</b>			
1月6日	・進路ガイダンス (WEB)	学生 49人	(45)
4月22日	・第1回就職ガイダンス (動画オンデマンド配信) 「就活スタートアップ~どうなる?2022年卒の就職活動」	学生3226人	(333)
5月20日	・第2回就職ガイダンス「インターンシップ選考対策&業界(企業)研究」 (動画オンデマンド配信)	学生843人	(260)
10月7日	・第3回就職ガイダンス「公務員希望者向けガイダンス」 ①人事院九州事務局②九州財務局③熊本国税局④鹿児島労働局⑤鹿児島地方・家庭裁判所	学生 100人	(84)
12月9日	・第4回就職ガイダンス「エントリーシート対策」 (Web)	学生70人	(122)
12月23日	・第5回就職ガイダンス「面接対策&就活ストレス対処法」 (Web)	学生45人	(83)
1月20日	・第6回就職ガイダンス「直前準備対策~2月からの攻め方」 (Web)	学生97人	(137)
8月11日	・就職支援講座Ⅰ「就活マナー実践」	学生 96人	(96)
10月21日	・就職支援講座Ⅱ「インターンシップ振り返り講座」	学生 53人	(-)
1月20日	・就職支援講座Ⅲ「動画・Web選考対策」	学生 78人	(-)
2月15~17日	・就職支援講座Ⅳ「模擬面接会」 (3日間)	学生 47人	(52)
6月17日	・就活応援講座Ⅰ「公務員・教員受験者向け集団討論対策」	学生 23人	(25)
7月8日	・就活応援講座Ⅱ「就活見直し講座」	学生 19人	(19)
11月18日	・個別進路相談会	学生4人	(2)
	参加学生数累計 (前年度累計には、本年度開講のない事業の参加者数を含む)	学生4750人	(1448)
<b>【合同・単独企業セミナー(説明会)、業界・職種研究セミナー、卒業生によるセミナー等】</b>			
4月~3月	・学内における個別企業説明会(随時)。(※3年・院1年対象の説明会は3月以降)	企業62社 学生87人	(72) (111)
6月24日	・鹿大生のためのWebインターンシップ合同企業説明会	企業16社 学生361人	(42) (280)
7月15日	・県外企業によるWeb合同企業説明会	企業 17社 学生 41人	(-) (-)
8月19日	・県内企業による学内合同企業説明会(ブース形式)	企業 20社 学生 20人	(20) (15)
8月19日	・3大学限定Web合同企業説明会	企業 8社 学生 10人	(-) (-)
9月25日	・8大学限定Web合同企業説明会	企業 21社 学生 15人	(-) (-)
10月~2月	・業界・職種研究セミナー(随時)	企業 18社 学生 176人	(38) (271)
11月4日	・中小企業の魅力発見講座「社長と語ろう」	企業6社 学生24人	(6) (26)
12月5日 1月14日	・卒業生による就職・キャリア支援セミナー(Web)	回数 2回 学生 116人	(2) (53)
12月26日	・Web業界研究フェア(県内企業対象) ※官公庁も一部参加	企業51社 学生275人	企業 (148)
1月9日	・Web業界研究フェア(県外企業対象) ※官公庁も一部参加	企業98社 学生299人	学生 (664)
3月3日~5日	・学内個別企業セミナー・フェア(講義形式・3日間)	企業52社 学生324人	(61) (372)
3月15日~19日	・中四国・九州の国立大学生対象 Web合同企業説明会	企業78社 学生30人	(-) (-)
	参加企業数累計	443社	(398)
	参加学生数累計	学生1722人	(1792)
<b>【キャリア教育・就職情報冊子】</b>			
6月上旬	・学生向け就職冊子「就職支援ガイドブック」発行		3年・院1年生へ配布
2月上旬	・企業向け就職関係冊子「求人のための大学紹介」発行	企業1160社	(1169)
3月下旬	・キャリア形成支援センターリーフレット発行		
毎月1日	・学生向け就職情報「キャリア形成支援センターから」発行		
<b>【全学委員会その他】</b>			
	○キャリア形成支援委員会 (第1回:4月・第2回:6月・第3回:7月・第4回:10月・第5回:1月・第6回:3月)		
	○企業来室対応(求人・会社PR・情報収集等)	企業293社	(560)
<b>【就職個別相談】</b> ( )内は前年度の数値			
	○就職相談員(原則月・水・金の午後):779人(721) / ○センター職員(随時):49人(105)		
	○ハローワーク鹿児島 就職支援ナビゲーター(原則火・木 10:30~16:30):625人(636)		

※網掛け部分は実施方法を対面からWebに変更したものを示す。

表2

令和2年度 各学部の就職相談状況(就職相談員・キャリア形成支援課職員)

年月	相談員勤務日数	学 部														合計		R元年度
		法文		教育		理		医・歯		工		農・共同獣医		水産		就職相談員	キャリア形成支援課職員	
		就職相談員	キャリア形成支援課職員	就職相談員	キャリア形成支援課職員	就職相談員	キャリア形成支援課職員	就職相談員	キャリア形成支援課職員	就職相談員	キャリア形成支援課職員	就職相談員	キャリア形成支援課職員					
4月	16	47 (36)		11 (6)		10 (2)		2 (2)		25 (15)	1 (0)	14 (5)		3 (3)	1 (0)	112 (69)	2 (0)	138
5月	14	25 (16)		4 (4)	1 (1)	4 (2)		8 (8)		15 (9)	1 (0)	11 (10)	3 (2)	7 (2)	74 (51)	5 (3)	102	
6月	15	46 (24)		1 (1)		4 (3)	3 (0)	24 (24)		10 (6)	2	17 (12)	2 (1)	9 (4)	1	111 (74)	8 (1)	88
7月	11	36 (26)	3 (1)	2 (2)	2 (1)	2 (2)	2 (0)	12 (12)		13 (7)	1	8 (4)	1 (1)	11 (5)	2	84 (58)	11 (3)	80
8月	7	17 (9)	3 (1)	4 (1)	1 (1)	8 (3)		2 (2)		5 (1)		9 (6)		4 (4)		49 (26)	4 (2)	55
9月	4	10 (7)	1 (1)	2 (2)		3 (1)		2 (2)		0 (0)		3 (2)		4 (3)	1 (0)	24 (17)	2 (1)	20
10月	4	6 (4)		0 (0)		2 (2)	2 (2)	2 (2)		0 (0)		5 (0)		5 (5)		20 (13)	2 (2)	26
11月	4	5 (4)		1 (0)		2 (2)		2 (2)		4 (2)		1 (0)	2	1 (1)		16 (11)	2 (0)	9
12月	9	21 (11)	1 (0)	0 (0)		1 (0)		0 (0)		3 (2)		16 (14)		0 (0)		41 (27)	1 (0)	29
R3年1月	9	22 (7)		0 (0)	1 (1)	4 (0)		1 (1)		9 (2)	1 (0)	4 (2)		2 (2)	1 (0)	42 (14)	3 (1)	82
2月	15	29 (18)		10 (9)		8 (2)		2 (2)		19 (8)	1 (0)	19 (15)		6 (3)	1 (0)	93 (57)	2 (0)	85
3月	15	33 (27)	1 (0)	8 (6)		19 (12)	2 (1)	1 (0)	1 (1)	11 (4)	1	28 (19)	2 (0)	13 (7)		113 (75)	7 (2)	112
年度計	123日	297 (189)	9 3	43 (31)	5 (4)	67 (31)	9 (3)	58 (57)	1 (1)	114 (56)	8 (0)	135 (88)	10 (4)	65 (39)	7 (0)	779 (492)	49 (15)	826
学部別相談者合計		306 (192)		48 (35)		76 (34)		59 (58)		122 (56)		145 (93)		72 (39)		828 (507)		
学 部 割 合		37.0%		5.8%		9.2%		7.1%		14.7%		17.5%		8.7%		100%		

(注1) ( )内の数字は女子(内数)を示す。また学部割合の%は全学部の相談者合計に対する割合を示す。

※R元年度同時期累計

826件

(注2) 既卒者、大学院生を含む。

(注3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4/22～5/20までWebやメールによる遠隔相談を実施

(注4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため11/18～12/3までWebやメールによる遠隔相談を実施

令和2年度 就職支援ナビゲーターによる就職相談状況 (令和2年4月～令和3年3月)

	キャリア形成支援センターにおける相談状況 (毎週火・木曜 10時30分～12時、13時～17時)								令和元年度
	法文	教育	理	医・歯	工	農 共同獣医	水産	小計	
4月	25 (25)	3 (3)	3 (2)	1 (1)	7 (4)	11 (10)	1	51 (45)	64
5月	6 (4)	2 (1)	1 (1)	5 (5)	4 (2)	6 (3)	3 (1)	27 (17)	62
6月	18 (10)	6 (5)	7 (3)	20 (20)	3 (3)	13 (10)	3 (0)	70 (51)	77
7月	29 (16)	9 (9)	7 (4)	9 (9)	5 (2)	12 (9)	4 (0)	75 (49)	62
8月	25 (19)	12 (12)	7 (3)	3 (3)	5 (2)	10 (9)	1 (1)	63 (49)	57
9月	24 (14)	0 (0)	3 (1)	6 (6)	3 (0)	11 (7)	6 (5)	53 (33)	35
10月	27 (18)	3 (3)	7 (1)	2 (2)	9 (0)	8 (6)	0 (0)	56 (30)	41
11月	8 (8)	2 (0)	3 (0)	2 (2)	4 (1)	6 (4)	0 (0)	25 (15)	30
12月	19 (13)	0 (0)	6 (1)	0 (0)	8 (5)	4 (2)	0 (0)	37 (21)	45
令和2年1月	25 (18)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	13 (7)	6 (4)	0 (0)	48 (29)	64
2月	10 (7)	3 (3)	5 (2)	1 (1)	5 (0)	10 (9)	3 (0)	37 (22)	36
3月	18 (12)	4 (3)	12 (4)	1 (0)	8 (4)	23 (9)	17 (9)	83 (41)	63
R2年度計	234 (164)	44 (39)	65 (22)	50 (49)	74 (30)	120 (82)	38 (16)	625 (402)	636

令和元年度同時期の累計: 636件

(注1) ( )内の数字は女子(内数)を示す。

(注2) 既卒者、大学院生を含む。

(注3) 平成28年度から学部での就職相談は中止/平成30年度以降の相談日は週2日(平成29年度までは週3日以上)

※4/22～5/20まで新型コロナウイルス感染予防のため、相談対応を中止

※11/18～12/3まで新型コロナウイルス感染予防のため、Webやメールによる遠隔相談を実施

※1/4～2/1まで新型コロナウイルス感染予防のため、Webやメールによる遠隔相談を実施

表3

2021年3月卒対象求人件数

2021年3月末現在

年月	国家・地方公務員、独立行政法人			左記以外				合計	
	県内	県外	小計	キャリア形成支援課		ハローワーク			小計
				県内	県外	県内	県外		
2020年3月	2	56	58	93	672	0	0	765	823
4月	2	48	50	35	59	0	0	94	144
5月	4	72	76	13	43	0	0	56	132
6月	2	28	30	31	76	2	0	109	139
7月	20	68	88	68	69	0	0	137	225
8月	7	30	37	31	52	0	0	83	120
9月	3	13	16	22	33	3	0	58	74
10月	3	18	21	18	48	0	0	66	87
11月	4	12	16	17	24	0	0	41	57
12月	2	15	17	12	19	1	0	32	49
2021年1月	1	10	11	3	21	0	0	24	35
2月	0	9	9	7	10	0	0	17	26
3月	1	12	13	29	159	0	0	188	201
合計	51	391	442	379	1285	6	0	1670	2112
(2020年 3月卒対象)	47	381	428	369	1669	7	13	2058	2486

※既卒者対象求人3件を除く

※既卒者対象求人2件を除く



3. インターンシップ

(1) 窓口の一本化

キャリア形成支援センター設置と同時に、令和2年度から学内のインターンシップ取扱い窓口を一本化し、学生への情報提供や事前の相談体制を整備した結果、以下の「インターンシップ窓口利用状況」に示すとおり、年間利用学生数は延べ1,100人となった。大学経由で申し込むインターンシップの参加学生数と受入企業・団体数も、「大学経由インターンシップ参加学生数」と「受入先企業等数」のとおり、大幅に増加した。

インターンシップ窓口利用状況

2021年3月

【学部別(含大学院)】																				
月	法文学部		教育学部		理学部		医・歯学部		工学部		農学部		共同獣医学部		水産学部		他		合計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
4月	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4	2
5月	9	3	0	0	0	0	0	0	2	0	4	4	0	0	0	0	0	0	15	7
6月	124	72	11	4	7	3	0	0	6	1	42	23	0	0	21	12	0	0	211	115
7月	145	101	13	10	13	6	0	0	11	5	66	32	3	3	11	7	1	0	263	164
8月	57	44	4	3	13	12	0	0	10	3	32	14	0	0	4	3	0	0	120	79
9月	50	48	4	4	2	2	0	0	4	1	4	2	1	1	1	1	0	0	66	59
10月	92	71	9	9	6	2	0	0	13	1	20	10	3	3	6	3	0	0	149	99
11月	43	40	4	3	5	1	0	0	26	6	8	3	7	6	4	0	0	0	97	59
12月	23	21	6	5	5	1	0	0	19	1	4	0	3	2	1	0	1	0	62	30
1月	52	51	11	11	0	0	0	0	11	6	4	0	0	0	0	0	0	0	78	68
2月	2	1	6	6	1	0	0	0	1	0	5	3	1	1	0	0	0	0	16	11
3月	6	3	4	4	0	0	0	0	2	0	7	1	0	0	0	0	0	0	19	8
累計	604	455	73	59	52	27	0	0	105	24	198	94	18	16	48	26	2	0	1,100	701
(前年度同時期累計)																			0	0
【学年別】																				
月	1年		2年		3年		4年		M1		M2		既卒		左記以外		合計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
4月	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	
5月	0	0	0	0	7	4	5	2	2	0	0	0	0	0	1	1		15	7	
6月	1	1	4	0	191	109	9	2	6	3	0	0	0	0	0	0		211	115	
7月	5	4	9	3	231	144	5	4	12	9	0	0	1	0	0	0		263	164	
8月	5	3	9	5	97	68	3	1	6	2	0	0	0	0	0	0		120	79	
9月	3	3	1	0	58	55	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0		66	59	
10月	9	9	8	1	118	82	4	2	7	4	3	1	0	0	0	0		149	99	
11月	7	7	1	0	74	45	5	5	9	1	1	1	0	0	0	0		97	59	
12月	7	7	0	0	45	22	0	0	9	1	0	0	1	0	0	0		62	30	
1月	11	11	1	0	58	52	5	5	3	0	0	0	0	0	0	0		78	68	
2月	3	3	2	2	9	5	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0		16	11	
3月	0	0	1	0	16	8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0		19	8	
累計	51	48	36	11	904	594	43	25	59	20	4	2	2	0	1	1		1,100	701	
(前年度同時期累計)																		0	0	

女子の欄は内数



大学経由インターンシップ参加学生数

インターンシップ種別	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	
					エントリー数	参加数
キャンパスウェブ	78	46	17	19	4	4
インターンシップ窓口経由					283	134
地域キャリア・インターンシップ			25	30	20	20
かごしま課題解決型インターンシップ					35	7
SKY CAMP						
合計	78	46	42	49	342	165

受入先企業等数

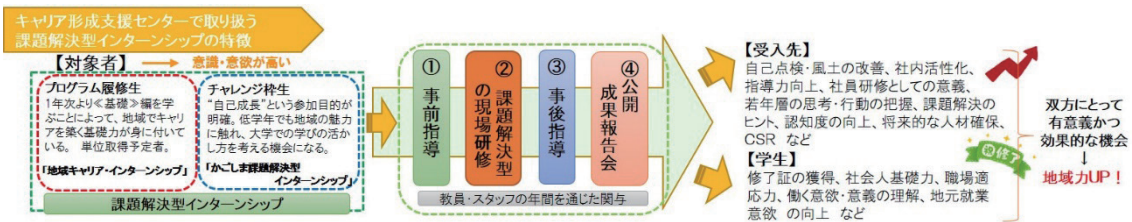
インターンシップ種別	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	
					エントリー数	参加数
キャンパスウェブ	30	27	13	9		2
インターンシップ窓口経由						18
地域キャリア・インターンシップ			14	11		12
かごしま課題解決型インターンシップ						1
SKY CAMP						
合計	30	27	27	20		33

(2) 課題解決型インターンシップ

キャリア形成支援センターが企画・実施する「課題解決型インターンシップ」(図1)は、地域マインドの醸成を主たる目的とする「かごしまキャリア教育プログラム」の共通教育科目「地域キャリアインターンシップ」と、自己成長のため学生が自主的に参加する正課外の「かごしま課題解決型インターンシップ」の総称である。

鹿児島商工会議所の協力のもと、鹿児島県内に本社を置く企業や県内の自治体からプログラム提供を受けて実施しており、通常の就業体験に留まらず、提示された課題を解決するためのアイデアを学生目線で提案することで、鹿児島の地域特性や地域経済全体への理解やキャリア基礎力の向上を目指すものである。

図1



キャリア形成支援センター設置後、初めての実施となる令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中、29事業所から36プログラムが提供され、20人(「地域キャリアインターンシップ」の履修者8人、「かごしま課題解決型インターンシップ」12人)の学生が参加した。参加学生は、センターのインターンシップ担当教員から事前学習、事後学習の指導を受け、成果報告会まで約8カ月の長期に渡るプログラムに挑んだ。特に令和2年度は、コロナ禍での長期プログラムを遂行する上で、学生と受入先が共に不安なく、明確な参加目的のもと充実した実習となるよう、60ページに渡るガイドブックを新たに作成した。

令和2年度の本インターンシップは、「第4回学生が選ぶインターンシップアワード2021」において、職場適応力、課題解決力、プレゼンテーション力の向上を目的に県内29の事業所を受入先として、充実した10日間のプログラムを全学部・全学年に広く提供している点、また、その効果を最大化するために丁寧なガイドブックを作成している点などが高く評価され、「文部科学大臣賞」を受賞している。



(3) 地域密着型パイロット人財創出プログラム (SKYCAMP プログラム)

学生に多様なキャリアの可能性を提供すると同時に、鹿児島に根差したパイロットを輩出し、ひいては地域社会の発展に貢献することを目的に、令和2年10月5日に本学と日本航空(株) (以下 JAL)、日本エアコミューター(株) (以下 JAC) が締結した連携協力協定に基づき、令和2年度からスタートしたものである。まずは11月6日、11日の計2回、JAC、JAL より現役パイロットを招いて開催したSKYCAMPの説明会には、84人の学生が参加した。その後、対象学年となる学部3年生、修士1年生の応募者35人の中から選ばれた7人(法文学部1人、理学部1人、工学部2人、理工学研究科3人)が、1期生として操縦飛行体験プログラムSKYCAMPに参加することになった。令和3年3月1日～13日までの計11日間、JACの協力により実施したSKYCAMPでは、鹿児島空港内のフライトトレーニングセンターで、座学やフライトシミュレーターによる操縦訓練、実際の飛行機の操縦等、様々な体験を経て、参加者全員が修了証を手にした。修了者の中から本学が推薦した2人(工学部1人、理工学研究科1人)がJACの条件付内定者として決定しており、卒業・修了後に崇城大学の研究生としてパイロットライセンス取得を目指すことになっている。



4. 大学コンソーシアム鹿児島「地域連携・就業部会」

令和2年度は、地域連携・就業部会をメール会議やオンラインで4回開催した(うち1回は高等教育機関部会委員によるワーキング)。部会の協働事業として、若年者の県内定着を促進するため、「進学・就職応援フェア みらいワーク“かごしま”」を鹿児島県等と共催し、参加者は610人、出展数は82(企業44社、学校27校、団体11団体)であった。

また、地元企業見学バスツアーは、新型コロナウイルス感染拡大状況に鑑み中止としたが、令和3年度の実施に向け、バーチャルもしくは対面型でのバスツアー等の実施方法や実施体制、スケジュールなどの詳細について協議し、計画を作成した。